



# 古代吉備との関係も浮上

古代吉備と大和政権がせめぎ合った五世紀に活躍した豪族。備中西部で最大級の前方後円墳を含む笠岡市走出・山口の長福寺裏山古墳群(同市指定史跡)。三十数年ぶりに行われた発掘調査で、当時の最先端文化・初期須恵器(五世紀前半)が出土するなど大きな成果が得られた。同古墳群の「主」たちは、古代吉備の歴史にどんな役割を果たしたのだろうか。(岩崎充宏)

## 笠岡・長福寺裏山古墳群 5世紀台頭の豪族埋葬

長福寺裏山古墳群があるのは笠岡市北部。古墳が築かれた丘陵に登ると、木々の間から小田川と尾坂川が流れる。豊かな穀倉地帯を見下ろせる。

前回の発掘調査が行われたのは昭和三十六年。同市教委の事業で、倉敷考古館の鎌木善昌氏(故人)、間壁彦子氏(現同考古館学芸員)が担当。全長六十メートルの前方後円墳・双塚古墳をはじめ、少なくとも五基からなる古墳群の概要が明らかになった。

その結果、五世紀後半代の古墳群との判断から「造



初期須恵器が出土した七つ塚2号墳の発掘区。1メートルほどの小さな方墳だ

<長福寺裏山古墳群>

| 古墳名    | 墳形   | 大きさ    | 埋葬主体部   | 主な遺物               |
|--------|------|--------|---------|--------------------|
| 七つ塚1号墳 | 方    | 一辺9.5m | 箱式石棺    | 鉄刀、須恵器             |
| 同2号墳   | 方    | 一辺8.5m | ?       | 須恵器                |
| 同3号墳   | 方    | 一辺5.5m | ?       |                    |
| 同4号墳   | 方    | 一辺6.5m | 木棺直葬    | 鉄刀                 |
| 双塚古墳   | 前方後円 | 全長60m  | 不明      | 銅鏡、円筒・形象埴輪         |
| 双塚東古墳  | 円    | 直径13m  | ?       | ※双塚古墳の陪塚か?         |
| 仙人塚古墳  | 帆立貝形 | 全長43m  | 竪穴式石室2基 | 須恵器、円筒・形象埴輪、短甲?    |
| 一つ塚古墳  | 帆立貝形 | 全長21m  | 箱式石棺?   |                    |
| 東塚古墳   | 前方後円 | 全長50m  | 竪穴式石室   | 鉄器(武器・馬具・工具・農具)、銅鏡 |

(ゴシック体は今回確認された古墳)

## 初期須恵器が出土

### 奥ヶ谷(総社)の製品に似る

山・作山の西巨大古墳の後、五世紀前半に引き上げそうなる初期須恵器の破片だ。吉備中核の勢力が後退したとみられる時期に、大和勢力との関係で台頭した豪族の古墳群ではないか(間壁彦子氏)。歴史の舞台は、今の大和府南部でほぼ独占的に生産された。たまたま、その前の短期間、九州や瀬戸内の一部では独自に須恵器が作られた。吉備の奥ヶ谷窯跡(総社市福井)もその一つ。そして、七つ塚2号墳の初期須恵器を見たところから「渡来人か、朝鮮半島で台頭したから」と

中核とのつながりで台頭し、可能性も出てくる。朝鮮半島との交流史に詳しい亀田助教は、まず同古墳群の性格に注目。埋葬主体部に土器を多く副葬する点で、吉備の海部(あまべ)のような存在があったことを、長福寺裏山古墳群は示す。吉備中核と結



長福寺裏山古墳群の七つ塚2号墳で出土した初期須恵器。製作技法などに総社市・奥ヶ谷窯跡との共通点がみられるという。上2点が甕(かめ)、下が壺(ひぼ)

壺群は五世紀後半で終わる。そのころ考案も成り立ち得る」と提起する。

初期須恵器の鑑定を含めて研究が深まり、長福寺裏山古墳群の意味、古代吉備盛衰の歴史が一層明らかになることを期待したい。

さおか古代の丘スポーツ公園(同市走出・山口)を整備するのに伴い実施。古墳群を公有化したうえで、同市教委が九年度から調査し、新事実を明らかにした。別表。

七つ塚二・三・四号墳、双塚東古墳という新たな古墳を確認。仙人塚古墳から盾・蓋(きぬがさ)・家動物・人物などさまざまな形象埴輪(はにわ)、七つ塚四号墳からは鉄製の太刀と多彩な遺物も出土した。

調査に当たる安東康宏学芸員が「成果の中でも特筆もの」と指摘するのは、七つ塚二号墳に伴って出土した同古墳群の始まった年代を

研究者の多くが「技法や形態が、奥ヶ谷窯跡の製法とよく似ている」と指摘する。

さらに奥ヶ谷窯跡も、造山古墳(岡山市新庄下)に眠る大首長との関係で渡来した陶工が構えた、として「七つ塚二号墳の初期須恵器は、吉備中核の大首長、きた岡山理科大の亀田修一助教は「須恵器の胎土分析をしないと断定できない」と推測する。

「長福寺裏山古墳」が海を通じて朝鮮半島墳群は、大和ではなく吉備との交流に雄飛する姿が浮

### 対外交流に從事か

「七つ塚二号墳の初期須恵器は、吉備中核の大首長、きた岡山理科大の亀田修一助教は「須恵器の胎土分析をしないと断定できない」と推測する。